

都市再生整備計画 事後評価シート
水戸市中心市街地地区

平成29年3月

茨城県水戸市

様式2-1 評価結果のまとめ

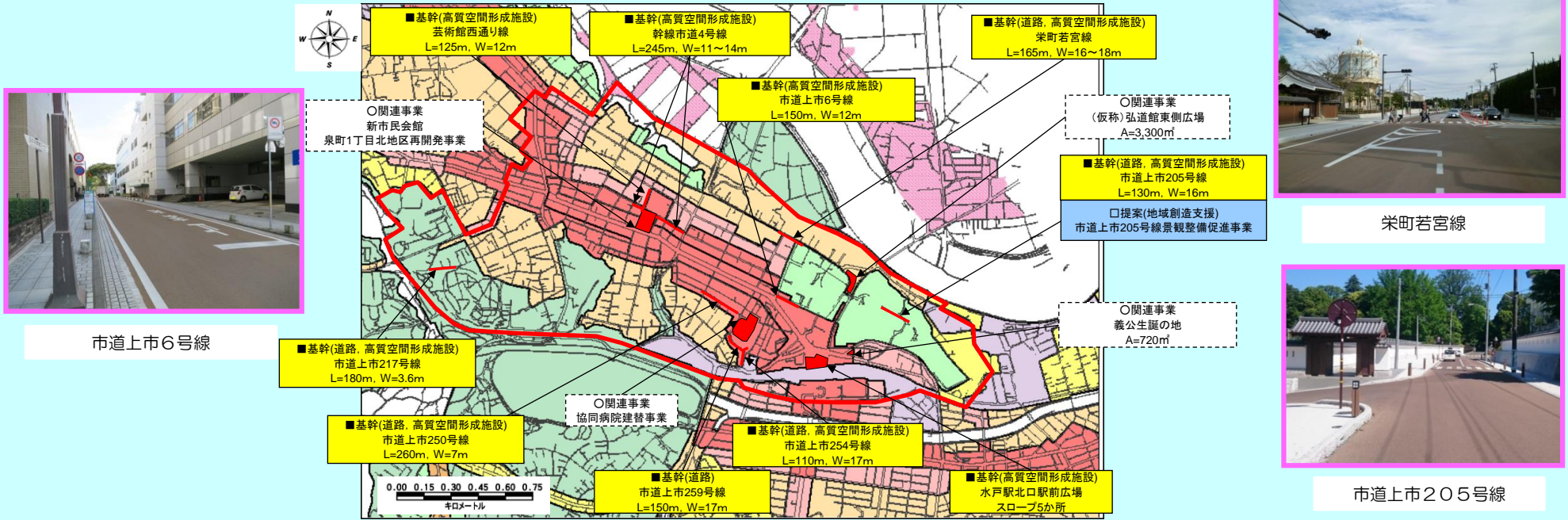
都道府県名	茨城県		市町村名	水戸市		地区名	水戸市中心市街地地区			面積	375ha		
交付期間	平成27年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	1,301	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(栄町若宮線、市道上市6号線、市道上市205号線、市道上市250号線、市道上市254号線、市道上市259号線、市道上市217号線、幹線市道4号線、市道上市190号線、市道上市191号線)、地域生活基盤施設(市民会館連絡通路A通路、市民会館連絡通路B通路、市民会館連絡通路C通路、義公生誕の地、(仮称)弘道館東側広場)、高質空間形成施設(栄町若宮線、市道上市6号線、市道上市205号線、市道上市250号線、市道上市254号線、市道上市259号線、市道上市217号線、水戸駅北口駅前広場)										
		提案事業	地域創造支援事業(市道上市205号線景観整備促進事業)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名 道路(市道上市6号線、幹線市道4号線、市道上市190号線、市道上市191号線)、地域生活基盤施設(市民会館連絡通路A通路、市民会館連絡通路B通路、市民会館連絡通路C通路)、高質空間形成施設(市道上市259号線)			削除/追加の理由 ・道路(市道上市6号線):関連事業へ移行。 ・道路(幹線市道4号線、市道上市190号線、市道上市191号線)、地域生活基盤施設(市民会館連絡通路A通路、市民会館連絡通路B通路、市民会館連絡通路C通路)、高質空間形成施設(市道上市259号線):次期計画で実施するため。			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 ・影響なし				
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(幹線市道4号線、芸術館西通り線)			・高質空間形成施設:芸術文化の拠点としての地域性に配慮し、電線共同溝整備と併せバリアフリー化や美装化を図り、魅力的な街並み形成、安全で快適な道路環境を創出するため			・影響なし				
		提案事業	なし										
	交付期間の変更	当初	平成27年度～平成31年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		計画期間を短縮したことにより、効果を確認できるまで事業が進まず、当計画においては指標1及び指標2の計測が不可能となる。未完事業は次期計画へ移行し、継続して事業を進めていく。						
		変更	平成27年度～平成28年度										
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
					基準年度		目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
指標1		歩行者通行量	人	109.800	H27	109.800	H28		—	—	あり なし	● ●	効果をj確認できるまで事業が進んでおらず、計測不能。次期計画で目標達成の見込み。 H33年度
指標2		歩行者空間満足度	%	26.0	H27	47.8	H28		—	—	あり なし	● ●	効果をj確認できるまで事業が進んでおらず、計測不能。次期計画で目標達成の見込み。 H33年度
指標3	歴史的景観満足度	%	64.2	H27	69.5	H28		92.7	○	あり なし	● ●	水戸城跡周辺の整備が進んだことにより、歴史的景観に配慮した空間が実現し、指標の達成につながった。 H29年度	

	指標		従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1											
	その他の 数値指標2											
	その他の 数値指標3											
4) 定性的な効果 発現状況	栄町若宮線、市道上市205号線、市道上市6号線を整備したことにより、弘道館・水戸城跡周辺地区において一体的な歴史景観が造成され、観光拠点としての価値が高まった。											
5) 実施過程の評価			実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加 プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	持続的なまちづくり 体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

水戸市中心市街地地区(茨城県水戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値		
大目標:歴史・文化・自然を生かした多くの人が集い、にぎわう、交流を創出するまちづくり 目標1:まちなか交流拠点を活用したにぎわいづくり 目標2:歩いて快適な道路空間整備 目標3:歴史性に配慮したまちなみや道路景観整備の推進	歩行者通行量	単位:人	109,800 H27年度	109,800 H28年度	—	—
	歩行者空間満足度	単位:%	26.0 H27年度	47.8 H28年度	—	—
	歴史的景観満足度	単位:%	64.2 H27年度	69.5 H28年度	92.7	○



まちの課題の変化	・栄町若宮線、市道上市205号線、市道上市6号線を整備したことにより、弘道館・水戸城跡周辺地区において一体的な歴史的景観が造成され、観光拠点としての価値が高まった。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・借楽園・千波湖周辺や弘道館・水戸城跡周辺地区において、歴史的資源を活かした景観整備、観光の拠点づくりを進める。 ・協同病院の周辺道路の交通渋滞を緩和するため、今後とも周辺道路整備の推進を図り、用地交渉や関連工事を実施していく。 ・中心市街地の交流拠点や周辺道路の整備、交通体系の見直し等を絡めたまちづくりを推進する。 ・電線地中化による安全な歩行者空間の確保等、中心市街地の道路整備を推進する。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		47.1	47.8	芸術館西通り線、幹線市道4号線の追加により、歩行者空間満足度の目標値の数値を変更した。
D. その他(目標年度、区域変更)	●		H31, 約575ha	H28, 約375ha	・計画期間の変更に伴い、計画期間の終了するH28年度を目標年度とする。 ・計画区域を水戸市第6次総合計画における都市核のエリアとして位置付けてきたが、事業個所の精査の結果、区域縮小を行った。

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	栄町若宮線	390	L=590m, W=16~18m	84	L=165m, W=16~18m	交付期間内事業費の減額。	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
道路	市道上市6号線	45	L=120m, W=8m			関連事業へ移行	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
道路	市道上市205号線	78	L=370m, W=16m	75	L=130m, W=16m	延長の変更 事業費の減額	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	
道路	市道上市250号線	95	L=260m, W=7m	8	L=260m, W=7m	事業費の減額	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
道路	市道上市254号線	706	L=320m, W=12m	10	L=110m, W=17m	延長及び幅員の変更 事業費の減額	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
道路	市道上市259号線	458	L=150m, W=10m	620	L=150m, W=17m	幅員の変更 事業費の増額	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
道路	市道上市217号線	75	L=180m, W=3.6 m	49	L=180m, W=3.6 m	事業費の減額	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		●
道路	幹線市道4号線	29	L=70m, W=14m			計画期間内に事業の進捗が見込まれないため削除。	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		

道路	市道上市190号線	27	L=70m, W=6.5m		計画期間内に事業の進捗が見込まれないため削除。	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
道路	市道上市191号線	34	L=65m, W=6.5m		計画期間内に事業の進捗が見込まれないため削除。	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
地域生活基盤施設	義公生誕の地	240	A=720㎡		関連事業へ移行	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
地域生活基盤施設	(仮称)弘道館東側広場	290	A=3,300㎡		関連事業へ移行	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
地域生活基盤施設	市民会館連絡通路A通路	33	L=3m, W=3m		計画期間内に事業の進捗が見込まれないため削除。	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
地域生活基盤施設	市民会館連絡通路B通路	61	L=20m, W=4.5m		計画期間内に事業の進捗が見込まれないため削除。	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
地域生活基盤施設	市民会館連絡通路C通路	266	L=25m, W=3m		計画期間内に事業の進捗が見込まれないため削除。	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。		
高質空間形成施設	栄町若宮線	391	L=590m, W=16~18m	138	L=165m, W=16~18m	延長の変更 事業費の減額	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●
高質空間形成施設	市道上市6号線	68	L=270m, W=8~12m	28	L=150m, W=12m	延長及び幅員の変更 事業費の減額	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●
高質空間形成施設	市道上市205号線	212	L=370m, W=16m	139	L=130m, W=16m	延長の変更 事業費の減額	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●
高質空間形成施設	市道上市250号線	105	L=260m, W=7m	2	L=260m, W=7m	事業費の減額	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●
高質空間形成施設	市道上市254号線	706	L=320m, W=12m	13	L=110m, W=17m	延長及び幅員の変更 事業費の減額	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●
高質空間形成施設	市道上市259号線	460	L=150m, W=10m			計画期間内に事業の進捗が見込まれないため削除。	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	
高質空間形成施設	市道上市217号線	75	L=180m, W=3.6m	100	L=180m, W=3.6m	事業費の増額	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●
高質空間形成施設	幹線市道4号線			3	L=245m, W=11~14m	平成27年12月に計画変更して追加	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●
高質空間形成施設	芸術館西通り線			6	L=125m, W=12m	平成27年12月に計画変更して追加	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●
高質空間形成施設	水戸駅北口駅前広場	150	スロープ5か所	55	スロープ5か所	事業費の減額	歩行者通行量及び歩行者空間満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●

提案事業

事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	景観整備促進事業	110	L=275m	126	L=275m	事業費の減額	歴史的景観満足度の指標に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。	●	

(参考)関連事業

事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
協同病院建替事業		宮町3丁目			H27~H30	H28~H34	事業施工に向けて関係機関と協議中	
新市民会館		泉町1丁目	約14,800	約19,200	H29~H31	H29~H32	事業推進計画を作成している。	
泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業		泉町1丁目	約25,100	約26,300	H27~H31	H28~H32	平成28年7月に都市計画決定を行った。	
街なみ環境整備事業		栄町若宮線		712		H28~H30	道路改良工事を施工中	
		市道上市6号線		200		H31~H32	事業施工に向けて関係機関と協議中	
		市道上市205号線		473		H28~H29	道路改良工事を施工中	
		義公生誕の地	240	227	H26~H29	H31~H33	事業施工に向けて関係機関と協議中	平成27年12月に計画変更して地域生活基盤施設事業より移行
		(仮称)弘道館東側広場	290	532	H26~H30	H28~H31	用地買収実施中	平成27年12月に計画変更して地域生活基盤施設事業より移行

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度		基準年度		目標年度						あり	なし		
指標1	歩行者通行量	人	国道50号線沿いの中心市街地地区における歩行者通行量をカウンターで計測し、それを評価値とする。			109,800	H27	109,800	H28	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定見込み ●	-	事後評価	-		
指標2	歩行者空間満足度	%	国道50号線沿いを利用する歩行者を対象に満足度のアンケートをとり、それを評価値とする。			26.0	H27	47.8	H28	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定見込み ●	-	事後評価	-		
指標3	歴史的景観満足度	%	弘道館・偕楽園周辺の地域住民を対象に満足度のアンケートをとり、それを評価値とする。			64.2	H27	69.5	H28	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定見込み ●	92.7	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	事後評価時点では事業が完了していないため、指標の計測が不可能であった。	当該事業は次期計画に引き継ぎ、事業完了後には目標を達成する見込みである。
指標2	事後評価時点では事業が完了していないため、指標の計測が不可能であった。	当該事業は次期計画に引き継ぎ、事業完了後には目標を達成する見込みである。
指標3	弘道館・偕楽園周辺において、歴史的・文化的資源のもつ特徴に配慮した道路整備や白壁の整備等を行ったことにより、市民の満足度において、評価値が目標値を上回った。	-

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度				
その他の 数値指標1							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標2							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		
その他の 数値指標3							モニタリング			
							事後評価	確定 見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・栄町若宮線、市道上市205号線、市道上市6号線を整備したことにより、弘道館・水戸城跡周辺地区において一体的な歴史的景観が造成され、観光拠点としての価値が高まった。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業ワーキンググループ	庁内の関係各課(政策企画課, 財政課, 文化交流課, 商工課, 市街地整備課, 泉町周辺地区開発事務所)	平成28年8月1日	都市計画部都市計画課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標3							
指標名		歴史的景観満足度							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路・栄町若宮線	◎	水戸城跡周辺の歴史性や文化的特徴に配慮した道路景観整備が進んだことにより、歴史を感じられる空間の形成が実現し、満足度の向上につながった。						
	道路・市道上市205号線	◎							
	道路・市道上市250号線	-							
	道路・市道上市254号線	-							
	道路・市道上市259号線	-							
	道路・市道上市217号線	△							
	高質空間形成施設・栄町若宮線	◎							
	高質空間形成施設・市道上市6号線	◎							
	高質空間形成施設・市道上市205号線	◎							
	高質空間形成施設・市道上市250号線	-							
	高質空間形成施設・市道上市254号線	-							
	高質空間形成施設・市道上市217号線	△							
	高質空間形成施設・幹線市道4号線	-							
	高質空間形成施設・芸術館西通り線	-							
高質空間形成施設・水戸駅北口駅前広場	-								
提案事業									
関連事業	協同病院建替事業・宮町3丁目	-							
	新たな市民会館・泉町1丁目	-							
	泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業・泉町1丁目	-							
	街なみ環境整備事業・栄町若宮線	◎							
	市道上市6号線	◎							
	市道上市205号線	◎							
	義公生誕の地(仮称)弘道館東側広場	△							

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	中心市街地の交流拠点や周辺道路も含めて更なる整備を進め、回遊性の高い観光拠点としても歴史的文化的資源の活用を高める。			
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2									
指標名		歩行者通行量	歩行者空間満足度									
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	道路・栄町若宮線	-	計画期間を短縮したため効果が得られるまで事業が進捗せず、指標の測定が不可能であった。	-	計画期間を短縮したため効果が得られるまで事業が進捗せず、指標の測定が不可能であった。							
	道路・市道上市205号線	-										
	道路・市道上市250号線	-										
	道路・市道上市254号線	-										
	道路・市道上市259号線	-										
	道路・市道上市217号線	-										
	高質空間形成施設・栄町若宮線	-										
	高質空間形成施設・市道上市6号線	-										
	高質空間形成施設・市道上市205号線	-										
	高質空間形成施設・市道上市250号線	-										
	高質空間形成施設・市道上市254号線	-										
	高質空間形成施設・市道上市217号線	-										
	高質空間形成施設・幹線市道4号線	-										
	高質空間形成施設・芸術館西通り線	-										
高質空間形成施設・水戸駅北口駅前広場	-											
提案事業		-		-								
関連事業	協同病院建替事業・宮町3丁目	-		-								
	新たな市民会館・泉町1丁目	-		-								
	泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業・泉町1丁目	-		-								
	街なみ環境整備事業・栄町若宮線	-		-								
	市道上市6号線	-		-								
	市道上市205号線	-		-								
	義公生誕の地	-		-								
	(仮称)弘道館東側広場	-		-								

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	<p>未完成の事業については、指標とともに次期計画に引きつぎ、継続して事業を進める。次期計画完了時に目標を達成する見込みである。</p>	<p>未完成の事業については、指標とともに次期計画に引きつぎ、継続して事業を進める。次期計画完了時に目標を達成する見込みである。</p>		

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業ワーキンググループ	庁内の関係各課(政策企画課, 財政課, 文化交流課, 商工課, 市街地整備課, 泉町周辺地区開発事務所)	平成28年8月1日	都市計画部都市計画課(都市再生整備計画事業担当課)

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
人と環境にやさしいまちなか交通体系の整備, まちなか居住の推進など, 活動拠点としての中心市街地の再生	・栄町若宮線, 市道上市205号線, 市道上市6号線の道路と白壁を整備したことにより, 歴史的景観の造成及び歩行者空間の安全性向上に効果があった。	・中心市街地においても, 安全な歩行者空間が確保されていない道路や, 交通渋滞等の問題が未だ解消されていない。	<p>事業によって発生した新たな課題</p> <p>・弘道館・偕楽園周辺地区でのアンケート結果から, 歴史的景観満足度については「満足・やや満足」の占める割合が約93%となっているが, 今回整備を行った箇所以外についても, 更なる整備を望む意見があり, 次期計画でも計画的な事業計画のもと段階的に推進する必要がある。</p> <p>また, 「観光客対応の施設が必要」, 「おもてなしの充実を」等, 観光拠点としての充実を求める声もあり, 道路整備等で回遊性の向上を図るなど整備を進めるとともに, 歴史的・文化的資源の活用法については地域コミュニティに根差したものととなるよう多角的に方策を検討する必要がある。</p>
商業・業務地区を目標しての再開発事業の促進。また道路の整備等交通体系の強化や, 歩行者空間の整備で回遊性の向上を図り, 利便性が良い安心・安全なまちとしての求心性の向上	・栄町若宮線, 市道上市205号線, 市道上市6号線を整備したことにより車両及び歩行者の安全性の確保に, 一定の改善がなされた。しかし, 計画期間を短縮したために, 中心市街地の交流拠点及び周辺道路の整備に未完成の事業が残り, 課題の改善には至らなかった。	・事業前の課題が未解決のまま残る。	
歴史的文化的資源である偕楽園や弘道館を生かし, 道路景観整備の促進に加え, 回遊性と賑わいの増進のために資源の更なる活用	・栄町若宮線, 市道上市205号線, 市道上市6号線を整備したことにより, 弘道館・水戸城跡周辺地区において一体的な歴史的景観が造成され, 観光拠点としての価値が高まった。	・偕楽園や弘道館等の歴史的文化的資源と, 中心市街地の交流拠点整備等の他の事業との連携を強化することによる, 更なるまちのにぎわいづくりが必要。	
協同病院の周辺道路は, 交通渋滞を引き起こしているため, 緊急搬送の円滑化の観点から, 早急に道路の体系的な整備の必要がある	・協同病院の周辺道路の整備に向けて, 関係機関協議や詳細設計, 用地交渉を進めている。	・課題については未だ解決していないことから, 早急に整備を進める必要がある。	
水戸のシンボル空間である偕楽園及び千波公園の自然や歴史・文化を生かした整備やイベントの開催など, 来訪者に親しまれる交流拠点づくり	・計画期間を短縮したために, 偕楽園及び千波公園周辺の整備に対する事業が未完成のため, 課題の改善には至らなかった。	・事業前の課題が未解決のまま残る。	
新たなまちなか交流拠点の形成を図るため, 再開発等による拠点づくりを総合的に展開しながら, 人が回遊する都市空間の再生が必要である	・計画期間を短縮したために, 中心市街地の交流拠点及び周辺道路の整備に対する事業が未完成のため, 課題の改善には至らなかった。	・事業前の課題が未解決のまま残る。	

これを受けて, 成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて, 改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	・歴史性に配慮したまちなみ景観	・電線地中化による安全な歩行者空間の確保等、中心市街地の道路整備を推進する。	・道路改良・電線共同溝事業 ・公共交通網の見直し検討
	・歩行者空間の安全性	・電線地中化による安全な歩行者空間の確保等、中心市街地の道路整備を推進する。	・道路改良・電線共同溝事業 ・公共交通網の見直し検討 ・自転車走行空間の検討
	・弘道館・水戸城跡周辺地区の整備により向上した観光拠点としての価値	・信楽園・千波湖周辺や弘道館・水戸城跡周辺地区において、歴史的資源を活かした景観整備、観光の拠点づくりを進める。	・観光拠点の整備 ・歴史・観光ロードの整備 ・回遊ルートの設定 ・観光PR活動

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	・中心市街地の交通体系の強化。 ・中心市街地における歩行者空間の利便性及び安全性の確保。	・当該計画で未完成となった事業を次期計画に引き継ぎ、整備を進める。	・道路改良・電線共同溝事業 ・歩道整備・照明灯設置 ・自転車走行空間の検討
	・協同病院周辺道路の交通体系及び病院利用者の安全性の確保。	・当該計画で未完成となった事業を次期計画に引き継ぎ、整備を進める。	・道路改良・電線共同溝事業 ・歩道整備・照明灯設置
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

・弘道館・水戸城周辺地区の整備により向上した観光拠点としての価値の利活用の方法について、地域コミュニティに根差したものとなるよう多角的に方策を検討する必要がある。
・今後想定される事業として、官民連携による民間活力の活用を検討する。

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	歴史的空間満足度は目標値を達成しており、一定の活性化が図られた。	未完成の事業は次期計画に引きつぎ継続して実施する。
	うまくいかなかった点	歩行者通行量、歩行者空間満足度は、未完成のため計測不能であった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	歴史的空間満足度は、目標と整合性が図られた。	計画作成において、目標と整合した適切な事業の選択を行う。
	うまくいかなかった点	特になし	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	-	都市再生整備計画について、より積極的に公表をしていく。
	うまくいかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	特になし	今回の計画については、次期計画終了時に評価を再度行う。 適切な事業期間と事業計画の設定のもと、計画を策定する必要がある。
	うまくいかなかった点	計画が途中で終了となるため、十分な評価が行えなかった。	
その他	うまくいった点	特になし	
	うまくいかなかった点	特になし	

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・H29年度より、水戸市都市中枢地区を実施する。事後評価は、最終年度であるH33年度に実施予定。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに原案を掲載	平成28年11月17日～ 平成28年12月14日	平成28年11月17日～ 平成28年12月14日	担当課窓口、郵送、電子メールにより受け付ける。	都市計画部都市計画課
広報掲載・回覧・個別配布	市広報誌に、市のホームページ及び担当課窓口で原案を公表している旨を掲載	平成28年11月15日号	平成28年11月17日～ 平成28年12月14日		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	担当窓口において原案閲覧	平成28年11月17日～ 平成28年12月14日	平成28年11月17日～ 平成28年12月14日		

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸二中の周辺が整備されて綺麗になり、水戸市民として誇りに思う。これからも、歴史を感じるような整備を進めてもらいたい。 ・弘道館周辺には観光客がくつろげるお休み処がないのでお休み処を作って欲しい。 ・協同病院を利用しているが、朝夕の渋滞がひどい。早く道路を整備して渋滞を解消してください。
-------	---

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	山田 稔 茨城大学工学部都市システム工学科教授 出井 滋信 (一財)常陽地域研究センター参与 鹿倉 よし江 水戸女性フォーラム会長	平成28年12月	都市計画部都市計画課	水戸市都市再生整備計画 事業評価専門委員規則	独自に設置
その他の委員					

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・指標3については、適切なアンケートの実施により目標の達成を確認できた。 ・指標1及び指標2については、対象事業が完了しておらず事後評価時に指標の計測ができていないため、次期計画において計画に沿った事業の執行を行い、成果を確認すること。
	実施過程の評価	・モニタリング及び住民参加プロセスについては、実施されていないが整備計画にも記載がないため、特になしとの意見があった。
	効果発現要因の整理	・庁内の関係部署がワーキンググループに参加しており、的確な要因分析ができていると認められる。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価は、妥当に公表されたと認められる。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは適切に進められたと認められる。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・基本的な考え方については妥当であるが、事後評価シートの記載がわかりにくいとの意見があった。→事後評価シートの記載を修正。 ・今後のまちづくりの方策の想定される事業として、官民連携による民間活力の活用を検討してはどうかとの意見があった。→意見を受け、添付様式5-参考記述に追記。
	フォローアップ	・フォローアップについては、適切に計画されていると認められる。 ・未完成の事業については、完成後すみやかにフォローアップを実施すること。
	その他	特になし
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められる。
その他	・幼稚園や小学校等の教育施設の多い弘道館・水戸城跡周辺地区の景観及び道路整備は、地域住民にとって有益とみられる。教育機関等、他事業との連携による効果の活用も今後検討されたい。	

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

都市再生整備計画(第2回変更)

み と し ちゅうしんしが い ち ち く
水戸市中心市街地地区

いばらきけん み と し
茨城県 水戸市

平成29年1月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	茨城県	市町村名	水戸市	地区名	水戸市中心市街地地区	面積	375 ha
計画期間	平成 27 年度	～	平成 28 年度	交付期間	平成 27 年度	～	平成 28 年度

目標 大目標:歴史・文化・自然を生かした多くの人が集い、にぎわう、交流を創出するまちづくり

- 目標1:まちなか交流拠点を活用したにぎわいづくり
- 目標2:歩いて快適な道路空間整備
- 目標3:歴史性に配慮したまちなみや道路景観整備の推進

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 本市の中心市街地は、古くから交通の要衝として、商業、業務、行政、教育、医療等、様々な都市機能が集積し、市内外から、買い物や通勤・通学等の多くの人が訪れる地区として発展してきた。しかし、郊外型大規模店舗の立地の影響や少子高齢化の影響、通信販売の利用といったライフスタイルの変化などにより、駅前大型商業施設の撤退、商店街の空き店舗増加、低未利用地の増加など、中心市街地の活力が低下している状況にある。このことは、地域経済、雇用等に悪影響を及ぼし、まちなかの停滞につながることから平成20年度に新中心市街地活性化基本計画を策定し、県都にふさわしい魅力と活力にあふれる中心市街地の再生に向け、空き店舗対策をはじめ、商業の活性化に資する施策を推進するほか、再開発事業等による交流拠点づくりを図った。
- 平成17年から平成26年まで、水戸市中心市街地地区として、まちづくり交付金事業(1期・2期)として道路・公園・各種施設の整備を行い、中心市街地活性化に向けた取組を行っている。
- 育児の孤立化、育児不安が増大していることから、子育て中の親が、親同士の交流の場を持つことができ、地域ぐるみの子育て支援が受けられるよう、子育て支援・多世代交流センターとして、「わんぱーく・みと」、「はみんぐばーく・みと」の整備を行ってきた。
- 待機児童解消や特別保育事業の充実のため、保育所整備を行ってきた。

課題

- 本市の中心市街地は、時代の要請を踏まえたコンパクトなまちづくりの核となり、地域経済の発展と本市の魅力と活力を発信していくうえで、欠かすことのできない重要な地区として、既存資源の有効活用や都市中枢機能の集積と有機的連携を図りながら、都市核の強化に向け、より一層の活性化への取組を推進していく必要がある。
- 人と環境にやさしいまちなか交通体系の確立やまちなか居住を推進するなど、人々が集い、暮らし、活動する中心市街地としての再生に総合的に取り組んでいく必要がある。
- 中心市街地の都市機能を高め厚みのある商業・業務地区としての整備を図るため再開発事業等の促進を図るとともに、道路の整備等交通体系の強化や歩行者空間の整備による回遊性の向上を図り、利便性が良い、安心・安全なまちとしての求心性を高めていく必要がある。
- 歴史的・文化資源である偕楽園や弘道館を生かした道路景観整備の推進を図る等、引き続き、回遊性の向上と賑わいの再生のために歴史的・文化資源の更なる活用が必要である。
- 中心市街地に立地する協同病院の周辺道路は、交通渋滞を引き起こしているため、緊急搬送の円滑化の観点から、早急に道路の体系的な整備を図る必要がある。
- 水戸のシンボル空間である偕楽園及び千波公園は、自然や歴史、文化を生かした整備やイベントの開催をはじめ、来訪者に親しまれる交流拠点づくりを推進する必要がある。
- 新たなまちなか交流拠点の形成を図るため、再開発等による拠点づくりを総合的に展開しながら、人が回遊する都市空間の再生が必要である。

将来ビジョン(中長期)

○水戸市第6次総合計画

- 県都にふさわしい都市核の強化に向け、歴史的資源や文化的資源を生かしながら、商業、業務、行政、教育、医療、居住機能など、多くの人が集い、にぎわい、交流を創出する様々な都市中枢機能の連携強化と一層の集積を図るとともに、再開発等による交流拠点づくりや人と環境にやさしいまちなか交通体系の整備に加え、まちなかの活性化に向けたソフト事業を総合的に展開しながらにぎわいあふれる都市核としての中心市街地の再生を図る。
- 良好な自然景観を有する本市のシンボル空間である偕楽園・千波湖周辺を中心として、積極的な緑の保全及び再生とともに、潤いある水辺空間の創出を図る。

○水戸市都市計画マスタープラン

- 都市中枢機能の強化とさらなる集積を図るとともに、定住化の推進や歩いて暮らせる歩行環境の整備、市街地再開発事業による交流拠点づくりを総合的に展開しながら、魅力的な都市空間の形成を図る。

○水戸市新中心市街地活性化基本計画

- 多様な都市機能が集積するにぎわいあふれる中心市街地を形成するため、市民と行政との協働により、中心市街地が有する歴史的資源、社会資本等の有効活用を図りながら、各種事業を推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度	
				基準年度	従前値	目標年度	
歩行者通行量	人	国道50号沿線の中心市街地における平日と休日2日間の歩行者通行量	新たなまちなか交流拠点及び歩いて快適な道路空間の整備を進めることで、回遊性を高め、歩行者通行量を減少から現状維持へと転じさせることを目指す。	109,800	109,800	H27	H28
歩行者空間満足度	%	中心市街地における歩行者空間満足度	新たなまちなか交流拠点及び歩いて快適な道路空間の整備を進めることで、回遊性を高め、まちなかのにぎわいの再生を図る。	26.0	47.8	H27	H28
歴史的景観満足度	%	弘道館、偕楽園周辺における歴史的景観満足度	歴史的景観及び施設を整備することで、既存の歴史・文化施設の活用を図り、観光客の誘致と住民の憩いの場を創出し、中心市街地のにぎわいの再生を図る。	64.2	69.5	H27	H28

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【整備方針1】まちなか交流拠点を活用したにぎわいづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集約型都市を形成する持続可能なコンパクトなまちの実現に向け、新たな市民会館の整備により、近接する芸術館との一体性及び連続性を高めながら、まちなか交流拠点としてにぎわいの再生を図る。 ・本市の玄関口である水戸駅前広場を改修し、市内外の人々の交流ネットワークの強化を図る。 	<p>【基幹事業】高質空間形成施設(幹線市道4号線、芸術館西通り線、水戸駅北口駅前広場/市)</p> <p>【関連事業】新市民会館、泉町1丁目北地区第一種市街地再開発事業、協同病院建替事業(民間)</p>
<p>【整備方針2】歩いて快適な道路空間整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が回遊する歩行系ネットワークの形成に向けた道路空間整備を行う。 ・沿道のまちなみの雰囲気と調和する道路整備を行う。 ・水戸協同病院建替事業に併せ、病院周辺の歩行者空間の整備とネットワークの形成を図る。 	<p>【基幹事業】道路(250号線、254号線、259号線/市)</p> <p>【基幹事業】高質空間形成施設(市道上市250号線、254号線/市)</p>
<p>【整備方針3】歴史性に配慮したまちなみや道路景観整備の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的、文化的資源を生かしながら、道路やまちなみ景観の整備など歴史を感じられる空間の形成を図る。 ・歴史的資源の持つ特徴や沿道のまちなみの雰囲気と調和する道路整備を行う。 	<p>【基幹事業】道路(栄町若宮線、205号線、217号線/市)</p> <p>【基幹事業】高質空間形成施設(栄町若宮線、205号線、217号線、市道上市6号線、/市)</p> <p>【提案事業】地域創造支援事業(市道上市205号線景観整備促進事業/(NPO)茨城の暮らしと景観を考える会)</p> <p>【関連事業】(平成28年度から移行)栄町若宮線、市道上市6号線、205号線、義公生誕の地、(仮称)弘道館東側広場</p>
<p>その他</p> <p>【交付期間中の計画管理について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画の円滑な事業推進のため、行政内部の横断的な体制として「都市再生整備計画事業ワーキンググループ」を設置し、進行管理を行う。 	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,301	交付限度額	520.4	国費率	0.40
---------	-------	-------	-------	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		栄町若宮線	水戸市	直	L=165m, W=16~18m	23	30	27	27	1,232	84	84		84
		市道上市205号線	水戸市	直	L=130m, W=16m	24	29	27	27	472	75	75		75
		市道上市250号線	水戸市	直	L=260m, W=7m	27	31	27	27	142	8	8		8
		市道上市254号線	水戸市	直	L=110m, W=17m	27	33	27	28	333	33	33		33
		市道上市259号線	水戸市	直	L=150m, W=17m	28	29	28	28	773	428	428		428
		市道上市217号線	水戸市	直	L=180m, W=3.6m	21	28	27	28	513	91	91		91
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
高質空間形成施設		栄町若宮線	水戸市	直	L=165m, W=16~18m	23	30	27	27	656	158	158		158
		市道上市6号線	水戸市	直	L=150m, W=12m	25	32	27	27	174	28	28		28
		市道上市205号線	水戸市	直	L=130m, W=16m	24	29	27	27	638	139	139		139
		市道上市250号線	水戸市	直	L=260m, W=7m	27	31	27	27	59	2	2		2
		市道上市254号線	水戸市	直	L=110m, W=17m	27	33	27	27	54	12	12		12
		市道上市217号線	水戸市	直	L=180m, W=3.6m	21	28	27	28	58	58	58		58
		幹線市道4号線	水戸市	直	L=245m, W=11~14m	28	32	28	28	69	3	3		3
		芸術館西通り線	水戸市	直	L=125m, W=12m	28	32	28	28	31	6	6		6
		水戸駅北口駅前広場	水戸市	直	スロープ5か所	18	31	28	28	860	50	50		50
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										6,064	1,175	1,175	0	1,175

…A

都市再生整備計画の区域

水戸市中心市街地地区(茨城県水戸市)	面積	375 ha	区域	・泉町1～3丁目、大町1～3丁目、金町1～3丁目、北見町、五軒町1～3丁目、栄町1～2丁目、三の丸1～3丁目、大工町1～2丁目、天王町、常磐町、常磐町1～2丁目、梅香1～2丁目、備前町、南町1～3丁目、宮町1～3丁目、元山町1～2目全部 ・新荘3丁目、千波町、緑町2～3丁目の一部
--------------------	----	--------	----	---

